

● 教育現場のきらり

○ 地域に開かれ、信頼され、社会に貢献する学校を目指した、生徒の主体性やチャレンジ精神を育成する教育活動の実践～北海道野幌高等学校～

北海道野幌高等学校は、校訓「実践自立」及び「がんばり・ねばり・ふんばり」の三ばり精神のもと、地域に開かれ、信頼され、社会に貢献する学校を目指し、生徒が主体となった取組が大きな成果を上げています。

◆生徒会執行部とボランティア部の取組

本校では、生徒会執行部とボランティア部が連携し、警察署やボランティア団体と連携した取組を行っています。江別警察署と連携した自転車盗難被害防止や車上荒らし撲滅、ひたくり被害防止のための街頭啓発活動、運動系部活動の生徒とともに学校近隣のゴミ拾い、江別市歳末助け合い募金への協力、江別市内にある介護老人福祉施設での洗濯物の仕分け作業や清掃活動、江別市内の保育園での保育士の補助作業、江別市内の学童保育での英語活動のお手伝いなど、その活動は多岐にわたっています。これらの取組が評価され、平成二十八年度石狩管内教育実践奨励表彰を受賞しました。



春の啓蒙活動



園児達との自由遊び



あしなが募金



ふるさとクリーンウォーク

◆科学部の取組

本校科学部は、「地域に貢献可能な科学に関する活動」をコンセプトに、学校に隣接する防風林とその周辺の植生調査や環境整備活動を行っています。これらの活動が、地域の人々の関心を高め、防風林内の利用者の増加や、地元企業による植生復活事業の着手につながり、北海道科学文化協会平成二十八年度科学（理科）教育活動実践クラブ表彰を受賞しました。



防風林の清掃活動



防風林のパネル作成

石狩教育局教育支援課高等学校教育指導班指導主事 米根 洋一郎